統計茨城

1963．7

目　　次

[illegible]の値上がり
[illegible]教育小論……………………三猪信邦…1～2
[illegible]課人事異動……………………………2
[illegible]被害状況……………………………3
[illegible]基本調査結果速報(38年度)………………4～10
[illegible]別ラジオテレビ電話の普及状況……………11～13
[illegible]労統計調査結果速報(3，4月分)…………14～19
[illegible]自動車数……………………………20～23
[illegible]県産業総合指数……………………………24
[illegible]資料案内……………………………25
[illegible]産業めぐり(1)……………………26～27
[illegible]フにみる……………………………28
[illegible]雑　話(13)……………………塚本勝義……29

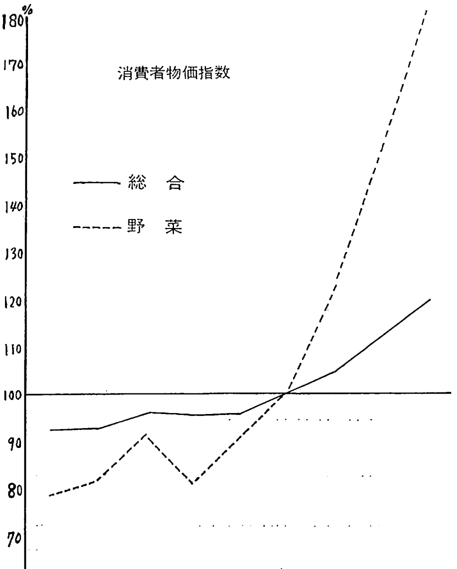
茨城県総務部統計課
茨城県統計協会

野菜の値上がり

暑い夏の到来とともに，八百屋さんの店先はにわかに活気ずき，ナス，トマト，キウリ，スイカなどをはじめ色とりどりの野菜や果物でにぎやかになる。野菜や果物は私達の食生活で欠かせないものだ。肉や魚の料理にも野菜はつきもの，とくに夏場にはビタミン類を普段より多く取らなければならないから，それだけ消費量も多くなるというわけ。

ところで財布をあずかる主婦にとつて，一番気にかかるのが値段のことだ，いつもなら最盛期になれば相当に安くなるはずの野菜も，最近では一向にその気配がみえない。

消費者物価のなかでも野菜の値上がりの仕方は群をぬいており，グラフにみるように３５年から急ピッチに上昇している。こんなに野菜の値上がりが激しいのは，それ相当の理由があるのだろうが，先日ある新聞がとり上げていたように，北海道のある小売店では，そのマージンが４９％という常識では考えられないほどもうけていたとかで流通機構にも大きな問題がありそうだ。また，農家で雇う雇人の賃金の上昇，ビニールハウスなど生産設備費の増加など生産費の上昇ということも考えられるが，ともあれ生活に直結するものだけあつて国民はこれを肌で感じ，所得倍増どころか，物価増倍じやないかとなげいているこの値上がりをくいとめる名案はないものだろうか。



統　計　教　育　小　論

——統計のおもしろさとおそろしさ——

東京教育大学教授　三　潴　信　邦

「統計教育」とは一体どのような対象にどのような目的で，そして如何なる手段で統計を教育することなのであろうか。先づ対象についていえば統計生産者と統計利用者に大別できよう。そして前者に対する教育の目的はいうまでもなく真実性の高い統計資料を兼価にしかも早く生産する技術を教授することであり，後者に対する教育の目的は生産された統計の真実性をたしかめ，さらにそれを科学的に利用する能力を養うことであろう。

そして生産者に対しても，利用者に対しても統計教育の具体的手段の最初は学校における統計教育であり，必要に応じては職場での統計教育もあろう。ここでは，学校教育のうち小中学校段階における統計教育について私見を記そう。

小中学校の教科課程では統計は独立の教科目（国語とか社会とか算数のような）ではなく，主として次の三教科で統計教育が取り扱われている。すなわち，

○算数——数量観念の養成から出発して，順次に数字の各種計算方法が教授されるなかで，統計数字の処理にも応用できる計算方法，計算技術が教授されるしかし，算数科における教育はあくまでも抽象数の処理に関して行なわれることに注意しなければならない。

○社会——社会現象の科学的認識について教授するなかで，社会現象の数量的な側面も多く取り扱われるが，ここで統計教育がもつとも綜合的に行なわれるすなわち，統計調査（生産），資料の加工，既存資料の利用方法など，この教科には統計教育の全分野をとり入れることができる。

○理科——自然現象の規則性や自然科学の基礎的原理を教授するなかで，統計的方法（観察測定，資料の整理，そして法則の確認）が利用される。

もちろん以上にあげた三教科以外でも統計的方法が利用されないことはないが，それは比較的限られたばあい——数量化が可能な——である。それでは以上の三教科を通じて教育指導されるべき統計教育の内容は何であろうか。一言でいえば，次の三つである。

① 統計資料を自分で作ること。（統計調査の初歩）

② 統計調査の結果を加工して，統計集団にあらわれる特徴をみつけ出すこと。

③ 既存の統計資料の正しい利用方法を知ること。

そして以上の三つが綜合されて「統計のおもしろさとおそろしさ」が教授できれば，小中学校における統計教育の目的は達せられたといえるのではなかろうか。

さて，次の統計調査におけるおもしろさとおそろしさとは何か。統計調査はそのものとしては児童にとつてたのしくおもしろい，というものではないだろう。なぜならば現象の忠実な観察と記録という地味な仕事がその主な内容だからである。そこで統計調査の前提となる調査項目の選定とその定義——たとえば，「お天気しらべ」における晴・曇・雨などの区別と観察時点・場所が調査結果を大きく左右すること。換言すれば，統計の技術的規定と，現象それ自体の理論的定義とのズレに気づかせることができれば，順次に教育課程が進むにつれて，統計のおもしろさとおそろしさとが密接に関連していることがわかるであろう。よく初期の統計教育が「調査ごつこ」に終始していたのは，おもしろさだけに重点があつたからではなかろうか。

② 統計資料の加工，分析におけるおもしろさとおそろしさ，とは何か。ここではグラフ化という仕事があるので，図工的なおもしろさは容易に見出されるだろう。しかし，グラフ化に進む前にもつと大切なことがある。それはグループ分け（分類）の問題である。たとえば，

「お父さんの仕事」をどのようにグループ分けするのか「お店やさん」のグループ分けはどうすればよいか。つまり産業分類や職業分類について基礎的なことを正確に教授することである。また第1次〜第3次産業という例の産業大区分が，ほとんど何の疑問もなく小中学校の教科書に資料として登場しているが，電気・ガス・水道など，製造業（第2次産業）と少しも異ならない。産業が第3次産業に組み入れられているばあいが多い。これはほんの一例であるが，グループ分けの問題についてもう少し神経を使つてもよいのではないか。また，グラフ化については一般的にいつて絵画的おもしろさが表現の下正確さにつながることも改めて注意したい。

③ 既存資料のおもしろさとおそろしさ，とは何か。既存資料の利用は高学年になるほど必要性が増すが，このばあい，①でのべた，統計技術的規定と理論的規定とのズレの問題が何といつても最重要な問題である。

たとえば，「完全失業者」と「失業者」のズレ，「現金給与総額」と「賃金」とのズレ「常用労働者」と「賃金労働者」とのズレ等々。しかし，このズレの問題はそのまま直接に児童生徒の教材にする必要は必ずしもなくむしろ，統計数字は何を語り，何を語つていないのかを身近な統計資料で教授したいものである。しかし，いわゆる「統計のうそ」の問題は既存資料の一方的批判だけに終つてしまつては建設的ではない。むしろ，批判的利用という点に力点がおかれるべきであろう。紙数がつきたから，自然現象の統計についてはふれられないが，社会現象の統計に比べて前述のズレの問題はきわめて少ない。

最後に，統計教育や研究指定校制度が，とかく何か目に見えた作品発表のみに走る傾向があるのは，統計のおもしろさとともにおそろしさを教えることを軽視しているからであろうと思うのである。

統　計　課　人　事　異　動

（7月1日 発令）

（新）			（旧）
転　入　者			
人口統計係	主　事	小野瀬泰次	常陸太田土木事務所
農林統計係	主事補	大崎貞徳	総務部総務課
転　出　者			
鹿行開発推進事務局（鹿島臨海工業地帯開発組合派遣）	主　事	中村健三	人口統計係
〃	〃	亀谷一郎	農林統計係

降ひょう被害状況

降ひょう日時	市町村名	作物別	被害面積	減収見込量	被害金額
6月23日 午後7.30〜8.30	明野町	たばこ	ha 1,724	kg 138,437	千円 84,038
		とまと	70	64,000	640
	結城市	たばこ	99	6,965	2,069
6月29日 午後3.40〜4.10	真壁町	たばこ	13,402	161,703	55,302
		とまと	60	24,000	240
	茎崎村	たばこ	18	2,926	1,088
		すいか	10	14,000	216
6月30日 午後6.00〜7.00	阿見町	たばこ	50	2,040	706
		すいか	298	315,000	4,851
		ぶどう	198	60,000	3,600
		きうり	30	9,000	135
		とまと	50	20,000	200
7月2日 午後3.30〜3.40	水海道市	たばこ	107	86,746	27,756
		とまと	5	112,800	1,128
		たばこ	15,400	398,817	170,959
		とまと	185	220,800	2,208
		すいか	308	329,000	5,067
		ぶどう	198	60,000	3,600
		きうり	30	9,000	135
計			16,121	1,017,617	181,969

降ひょう部落

明野町	田宿，松原，吉田，竹垣，海老島，宮山の一部
結城市	田間
真壁町	桜井，伊佐々，亀熊，塙世
茎崎村	大井
阿見町	荒川本郷，一区，二区，三区，上郷学校区，西郷，中郷，竹来，掛馬，島津
水海道市	内守谷町，坂手，小絹，菅生，七郷

資料　県農産園芸課

昭和38年度

学校基本調査結果速報

文部省所管の指定統計第13号として，毎年5月1日現在をもつて教育行政上の基礎資料を得るために行なわれる学校調査票の集計結果であり，後日文部省の発表をもつて確定数とするものである。

学校数について

小学校については626校（その内1校は私立）で前年に比し4校の減（本校1，分校2）となつている。

すなわち那珂郡瓜連小と静小の統合により瓜連小学校および行方郡山田小と繁昌小の統合により津澄小学校となつたため2校減少しているが，小里小大中分校（現在の大中小学校）の本校昇格により差引本校1の減となつたものである。

なお，久慈郡大子町の小生瀬小高柴分校および水府村山田小棚谷分校の廃校により結局分校で3校減少したわけである。

中学校については，274校（公立272校，私立2校）で本校，分校別にみると本校273校，分校1校であり，毎年統合によつて大規模な学校となる傾向にあるが，本年も相変らず本校で8校減少している。

なお，分校は前年と同様わずか1校で，それは多賀郡十王町にある十王校高原分校である。

高等学校では76校（公立66，私立10）（本校分校別にみると本校72，分校4）であり，前年に比し私立は変りがないが，公立では本校で5校増加し分校で2校減少している。

これは常北高等学校（旧水戸農業高等学校石塚分校）八郷高等学校（旧石岡第一高等学校八郷分校）の2校が本校への昇格であり，戦後中学卒業者数の最も多い年である本年度は入学志願者の激増に対処して，各学校の学級数の増加をはかるとともに学校数においても3校（玉造工業高等学校，高萩工業高等学校，日立商業高等学校）が増設されている。

学級数について

小学校の学級数は昭和34年以降年々減少の傾向にあるが，本年度も前年に比し108学級減少している。

中学校の公立についてみると昭和33年以降年々増加していた学級数も本年度においては前年に比し16学級減少している。私立は前年14学級が16学級と2学級増し，公私立合わせて14学級と本年にいたりようやく減少の傾向を示している。

なお，精神薄弱などの理由による特殊学級は時勢の要望に応じてか，年々増加の一途をたどつているが，前年に比し，小学校74学級で9学級増，中学校では30学級で6学級の増となり，精神薄弱児などの不遇な児童生徒の教育に大いに力を注いでいることがうかがわれる。

生徒数について

小学校では，昭和33年以降毎年減少の傾向を示しているが，本年も公私立合わせて262，513人で前年に比し13，624人減少している。その内訳は公立て6，052人減少し，私立はわずかに5人で前年と同様である。

中学校では公私立合わせて160，366人で，前年に比し5，988人減少しているが，その内訳は公立て6，052人減少にいる反面私立で64人増加している。

高等学校についてみると，71，143人（専攻科28人，別科125人を含む）で，前年の60，028人に比し，11，115人（18.5%）と大巾に増加している。

これは終戦後のベビーブーム時代と呼ばれた昭和23年に生れたいわゆる終戦つ子が今年初めて高校に大量入

学したためである。

教員数について

本務教員についてみると，小学校では８，２６１人（公立８，２５９人，私立２人）で生徒数，学級数などの減少に伴い前年に比し公立で７８人減，私立でわずかに１人だけ増したのみである。

中学校についてみると，５，５７５人（公立５，５５７人，私立１８人）で，前年に比し４３人増加している。（内訳は公立４９人増，私立６人減）高等学校については，公私立合わせて３，０７７人で，前年に比し３８１人増加しているが，これは急激に増加した生徒数，学級数などに即応した当然の処置からであろう。増加の内訳をみると公立３３７人，私立４４人と公立，私立いずれの高校も増加している。

職員数について

負担法による職員についてみると，小学校で１０４人で，前年に比し６人減少しているが，中学校では１５０人で前年に比し，２人多くなつている。

なお，児童生徒の養護を司る養護職員は小学校で９人中学校で２人となつている。

第１表　学校数

区分	小学校			中学校			高等学校						幼稚園		盲ろう養護学校
							本校			分校					
	計	本校	分校	計	本校	分校	計	全日制	併置	計	全日制	定時制	本園	分園	
総数	627	546	81	275	274	1	72	49	23	—	—	—	68	3	3
県立	—	—	—	—	—	—	62	40	22	4	—	4	—	—	3
市立	176	164	12	88	88	—	—	—	—	—	—	—	21	—	—
町村立	449	380	69	182	181	1	—	—	—	—	—	—	6	—	—
組合立	—	—	—	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	625	544	81	272	271	1	62	40	22	4	—	4	27	—	3
私立	1	1	—	2	2	—	10	9	1	—	—	—	41	3	—
国立	1	1	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第２表　学級数

区分		総数	単級	複式学級	単式学級	特殊学級
小学校	計	6,793	1	89	6,629	74
	公立	6,792	—	89	6,629	74
	私立	1	1	—	—	—
中学校	計	3,641	2	1	3,608	30
	公立	3,625	2	1	3,592	30
	私立	16	—	—	16	—

第 3 表　　児童生徒幼児数

小学校	総数 計	総数 男	総数 女	1学年 男	1学年 女	2学年 男	2学年 女
計	262,518	133,273	129,245	19,787	19,265	20,992	20,418
公立	262,513	133,270	129,243	19,786	19,264	20,991	20,418
私立	5	3	2	1	1	1	—

中学校	総数 計	総数 男	総数 女	1学年 男	1学年 女
計	160,366	81,688	78,678	26,590	25,683
公立	159,567	81,010	78,557	26,390	25,605
私立	799	678	121	200	78

高等学校	本 総数 計	本 総数 男	本 総数 女	本 1学年 男	本 1学年 女
公立 計	59,111	31,469	27,642	13,201	11,549
公立 全日制	54,521	27,879	26,642	11,810	11,248
公立 定時制	4,590	3,590	1,000	1,391	301
私立 計	11,879	3,124	8,755	1,949	4,110
私立 全日制	11,862	3,111	8,751	1,947	4,110
私立 定時制	17	13	4	2	

幼稚園	総数 計	総数 男	総数 女	3才 男	3才 女
計	6,716	3,492	3,224	117	91
公立	3,289	1,714	1,575	2	3
私立	3,427	1,778	1,649	115	88

盲，ろう学校	総数 計	総数 男	総数 女	1学年 男	1学年 女	2学年 男	2学年 女
小学部 盲	58	29	29	3	5	1	5
小学部 ろう	203	116	87	16	14	11	10
中学部 盲	42	28	14	11	5	9	4
中学部 ろう	104	54	50	22	19	16	11
高等部 盲	24	20	4	7	1	6	2
高等部 ろう	30	16	14	8	8	7	4

※　盲学校の高等部には以上のほか専攻科８名，別科39名で計47名いる。

養護学校	総数 計	総数 男	総数 女	1学年 男	1学年 女	2学年 男	2学年 女
小学部	90	54	36	8	5	11	10
中学部	52	24	28	8	12	7	7

3学年		4学年		5学年		6学年	
男	女	男	女	男	女	男	女
21,622	20,885	22,291	21,759	23,811	22,885	24,770	24,033
21,622	20,884	22,291	21,759	23,810	22,885	24,770	24,033
—	1	—	—	1	—	—	—

2学年		3学年	
男	女	男	女
27,971	26,561	27,127	26,434
27,750	26,518	26,870	26,434
221	43	257	—

科							
2学年		3学年		4学年		専攻科	別科
男	女	男	女	男	女		
10,088	8,662	7,516	7,224	664	207	28	125
9,168	8,368	6,901	7,026	—	—	28	125
920	294	615	198	664	207	—	—
732	3,219	438	1,424	5	2	—	—
729	3,219	435	1,422	—	—	—	—
3		3	2	5	2	—	—

4才		5才	
男	女	男	女
866	704	2,509	2,429
135	110	1,577	1,462
731	594	932	967

3学年		4学年		5学年		6学年	
男	女	男	女	男	女	男	女
3	2	6	2	6	10	10	5
24	21	17	13	25	14	23	15
8	5	—	—	—	—	—	—
16	20	—	—	—	—	—	—
7	1	—	—	—	—	—	—
1	2	—	—	—	—	—	—

3学年		4学年		5学年		6学年	
男	女	男	女	男	女	男	女
10	8	11	4	11	3	3	6
9	9	—	—	—	—	—	—

第 4 表

区分			総数			校長	
			計	男	女	男	女
小学校	総数		8,262	4,356	3,906	544	1
	本務者	計	8,261	4,355	3,906	543	1
		公立	8,259	4,353	3,906	543	1
		私立	2	2	—	—	—
	兼務者	計	1	1	—	1	—
		公立	—	—	—	—	—
		私立	1	1	—	1	—
中学校	総数		5,613	4,336	1,277	273	—
	本務者	計	5,575	4,302	1,273	268	—
		公立	5,557	4,290	1,267	268	—
		私立	18	12	6	—	—
	兼務者	計	38	34	4	5	—
		公立	6	6	—	3	—
		私立	32	28	4	2	—
高等学校(公立)	総数		2,766	2,327	439	62	—
	本務者	計	2,710	2,295	415	62	—
		全日制	2,511	2,104	407	62	—
		定時制	199	191	8	—	—
	兼務者	計	56	32	24	—	—
		全日制	53	30	23	—	—
		定時制	3	2	1	—	—
高等学校(私立)	総数		435	308	127	10	—
	本務者	計	367	255	112	10	—
		全日制	363	251	112	10	—
		定時制	4	4	—	—	—
	兼務者	計	68	53	15	—	—
		全日制	68	53	15	—	—
		定時制	—	—	—	—	—
盲学校	総数		31	22	9	1	—
	本務者		30	21	9	1	—
	兼務者		1	1	—	—	—
ろう学校	総数		52	25	27	1	—
	本務者		52	25	27	1	—
	兼務者		—	—	—	—	—
養護学校	総数		19	11	8	1	—
	本務者		19	11	8	1	—
	兼務者		—	—	—	—	—
幼稚園	総数		—	—	—	—	—
	本務者	計	328	27	301	21	14
		公立	106	1	105	1	1
		私立	222	26	196	20	13
	兼務者	計	—	—	—	—	—
		公立	35	35	—	25	—
		私立	9	8	1	—	—

教諭		助教諭		養護教諭	養護助教諭	講師	
男	女	男	女	女	女	男	女
3,757	**3,681**	**36**	**17**	**82**	**15**	**19**	**110**
3,757	3,681	36	17	82	15	19	110
3,755	3,681	36	17	82	15	19	110
2	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
4,043	**1,208**	**12**	**5**	**33**	**11**	**8**	**20**
4,018	1,205	12	5	33	10	4	20
4,006	1,202	12	5	33	9	4	18
12	3	—	—	—	1	—	2
25	3	—	—	—	1	4	—
3	—	—	—	—	—	—	—
22	3	—	—	—	1	4	—
2,223	**368**	**1**	**1**	**39**	**8**	**41**	**23**
2,218	361	1	1	39	8	14	6
2,028	353	1	1	39	8	13	6
190	8	—	—	—	—	1	—
5	7	—	—	—	—	27	17
5	7	—	—	—	—	25	16
—	—	—	—	—	—	2	1
218	**85**	**14**	**20**	**—**	**2**	**66**	**20**
213	83	14	20	—	1	18	8
211	83	13	20	—	1	17	8
2	—	1	—	—	—	1	—
5	2	—	—	—	1	48	12
5	2	—	—	—	1	48	12
—	—	—	—	—	—	—	—
19	**8**	**—**	**—**	**1**	**—**	**2**	**—**
19	8	—	—	1	—	1	—
—	—	—	—	—	—	1	—
22	**25**	**1**	**—**	**1**	**—**	**1**	**1**
22	25	1	—	1	—	1	1
—	—	—	—	—	—	—	—
10	**7**	**—**	**—**	**1**	**—**	**—**	**—**
10	7	—	—	1	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
1	152	1	131	—	1	4	3
—	67	—	36	—	—	—	1
1	85	1	95	—	1	4	2
—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—
7	1	—	—	—	—	1	—

第 5 表

区分		総数			事務職員				その他	
					負担法による者		負担法以外の者			
		計	男	女	男	女	男	女	男	女
幼稚園	計	47	9	38	—	—	5	7	4	31
	公立	18	1	17	—	—	—	1	1	16
	私立	29	8	21	—	—	5	6	3	15
小学校	計	1,427	207	1,220	52	52	—	—	155	1,168
	公立	1,427	207	1,220	52	52	—	—	155	1,168
	私立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中学校	計	610	196	414	98	52	—	—	98	362
	公立	608	195	413	98	52	—	—	97	361
	私立	2	1	1	—	—	—	—	1	1

区分			総数			事務職員		技術職員		実習助手		その他	
			計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
高等学校	総数		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	公立	計	673	493	180	165	79	10	—	141	9	177	92
		全日制	662	488	174	164	79	10	—	140	9	174	86
		定時制	11	5	6	1	—	—	—	1	—	3	6
	私立	計	71	32	39	22	26	—	—	4	3	6	10
		全日制	69	32	37	22	24	—	—	4	3	6	10
		定時制	2	—	2	—	2	—	—	—	—	—	—

区分	総数			事務職員		寮母	その他	
	計	男	女	男	女	女	男	女
盲学校	27	8	19	3	—	15	5	4
ろう学校	40	6	34	2	1	26	4	7
養護学校	9	8	1	2	1	—	6	—

市町村別 ラジオ・テレビ・電話の普及状況

(38年4月1日 現在)

市町村別	世帯数	台数			普及率		
		開通電話数	テレビ	ラジオ	開通電話数	テレビ	ラジオ
総数	414,307	50,827	254,945	361,044	12.3	61.5	87.1
市計	193,898	31,270	126,722	167,963	16.1	65.4	86.6
郡計	220,409	19,557	128,173	193,081	8.9	58.2	87.6
水戸市	33,822	8,152	23,091	28,611	24.1	68.3	84.6
日立市	38,297	6,031	23,852	32,571	15.7	62.3	85.0
土浦市	16,373	2,740	11,352	13,935	16.7	69.3	85.1
古河市	10,233	2,177	8,306	9,616	21.3	81.2	94.0
石岡市	7,423	1,304	5,125	6,486	17.6	69.0	87.4
下館市	10,369	1,629	7,660	9,653	15.7	73.9	93.1
結城市	7,369	1,093	5,294	6,901	14.8	71.8	93.6
竜ヶ崎市	6,988	793	5,158	6,339	11.3	73.8	90.7
那珂湊市	7,170	1,025	4,396	5,867	14.3	61.3	81.8
下妻市	5,768	708	3,690	5,285	12.3	64.0	91.6
水海道市	7,404	810	4,545	6,608	10.9	61.4	89.2
常陸太田市	7,339	1,115	4,726	6,981	15.2	64.4	95.1
勝田市	8,869	811	7,107	8,755	9.1	80.1	98.7
高萩市	7,400	742	2,828	5,000	10.0	38.2	67.6
北茨城市	12,623	1,212	5,879	9,564	9.6	46.6	75.8
笠間市	6,451	931	3,763	5,791	14.4	58.3	89.8
東茨城郡	26,056	2,500	14,467	22,358	9.6	55.5	85.8
常澄村	1,738	107	1,166	1,545	6.2	67.1	88.9
茨城町	5,600	398	3,266	4,733	7.1	58.3	84.5
小川町	3,055	289	1,581	2,450	9.5	51.8	80.2
美野里町	2,933	188	1,591	2,442	6.4	54.2	83.3
内原村	2,398	119	1,523	2,106	5.0	63.5	87.8
常北町	2,356	213	1,235	2,091	9.0	52.4	88.8
桂村	1,796	88	737	1,561	4.9	41.0	86.9
御前山村	1,400	127	510	1,363	9.1	36.4	97.4
大洗町	4,780	971	2,858	4,067	20.3	59.8	85.1
西茨城郡	11,525	1,179	7,325	10,306	10.2	63.6	89.4
友部町	3,720	411	2,587	3,392	11.0	69.5	91.2
岩間町	2,697	283	1,844	2,479	10.5	69.9	91.9
七会村	712	48	191	598	6.7	26.8	84.0
岩瀬町	4,396	437	2,703	3,837	9.9	61.5	87.3
那珂郡	20,717	1,848	11,598	18,405	8.9	56.0	88.8
東海村	2,761	592	2,159	2,830	21.4	78.2	102.5
那珂町	6,073	306	3,942	5,287	5.0	64.9	87.1

資料 茨城，栃木各電気通信部・NHK水戸放送局

市町村別	世帯数	台	数		普	及	率
		開通電話数	テレビ	ラジオ	開通電話数	テレビ	ラジオ
瓜連町	1,425	159	825	1,256	11.2	57.9	88.1
大宮町	4,848	472	2,715	4,315	9.7	56.0	89.0
山方町	2,555	150	782	2,150	5.9	30.6	84.1
美和村	1,526	91	628	1,283	6.0	41.2	84.1
緒川村	1,529	78	547	1,284	5.1	35.8	84.0
久慈郡	13,994	1,345	3,852	11,500	9.6	27.5	82.2
金砂郷村	2,735	96	1,248	2,392	3.5	45.6	87.5
水府村	2,187	146	459	1,767	6.7	21.0	80.8
里美村	1,385	191	306	1,202	13.8	22.1	86.8
大子町	7,687	912	1,839	6,139	11.9	23.9	79.9
多賀郡	2,309	106	930	1,749	4.6	40.3	75.7
十王町	2,309	106	930	1,749	4.6	40.3	75.7
鹿島郡	21,808	2,100	11,144	17,173	9.6	51.1	78.7
旭村	1,992	93	816	1,589	4.7	41.0	79.8
鉾田町	5,501	554	3,020	4,330	10.1	54.9	78.7
大洋村	1,830	126	802	1,377	6.9	43.8	75.2
大野村	1,839	129	888	1,567	7.0	48.3	85.2
鹿島町	2,984	268	1,738	2,446	9.0	58.2	82.0
神栖村	2,987	300	1,633	2,500	10.0	54.7	83.7
波崎町	4,675	630	2,247	3,364	13.5	48.1	72.0
行方郡	13,360	1,590	7,915	11,831	11.9	59.2	88.6
麻生町	3,690	410	2,170	3,206	11.1	58.8	86.9
牛堀町	1,283	168	854	1,203	13.1	66.6	93.8
潮来町	3,339	565	2,152	3,041	16.9	64.5	91.1
北浦村	2,230	175	1,232	1,870	7.8	55.2	83.9
玉造町	2,818	272	1,507	2,511	9.7	53.5	89.1
稲敷郡	21,757	1,825	14,252	19,181	8.4	65.5	88.2
江戸崎町	2,590	364	1,548	2,381	14.1	59.8	91.9
美浦村	1,727	177	1,063	1,527	10.2	61.6	88.4
阿見町	4,536	285	3,096	3,965	6.3	68.3	87.4
牛久町	3,342	268	2,348	2,905	8.0	70.3	86.9
茎崎村	1,096	46	681	972	4.2	62.1	88.7
新利根村	1,795	172	1,104	1,594	9.6	61.5	88.8
河内村	2,406	188	1,706	2,174	7.8	70.9	90.4
桜川村	1,719	144	1,000	1,472	8.4	58.2	85.6
東村	2,546	181	1,706	2,191	7.1	67.0	86.1

市町村別	世帯数	台	数		普	及	率
		開通電話数	テレビ	ラジオ	開通電話数	テレビ	ラジオ
新治郡	15,603	782	9,167	14,037	5.0	58.8	90.0
出島村	3,457	175	1,968	3,123	5.1	56.9	90.3
玉里村	954	64	603	832	6.7	63.2	87.2
八郷町	5,623	283	3,050	5,041	5.0	54.2	89.6
千代田村	2,112	60	1,120	1,523	2.8	53.0	72.1
新治村	1,619	103	1,260	1,868	6.4	77.8	115.4
桜村	1,838	97	1,166	1,650	5.3	63.4	89.8
筑波郡	17,202	1,280	10,880	15,529	7.4	63.2	90.3
谷田部町	4,001	298	2,753	3,774	7.4	68.8	94.3
伊奈村	2,168	96	1,662	2,018	4.4	76.7	93.1
谷和原村	1,998	73	1,231	1,908	3.7	61.6	95.5
豊里町	2,156	149	960	1,767	6.9	44.5	82.0
筑波町	4,671	464	2,980	4,227	9.9	63.8	90.5
大穂町	2,208	200	1,294	1,835	9.1	58.6	83.1
真壁郡	14,191	1,110	8,159	12,747	7.8	57.5	89.8
関城町	2,702	208	1,603	2,579	7.7	59.3	95.4
明野町	3,081	144	1,475	2,765	4.7	47.9	89 7
真壁町	4,312	552	2,528	3,676	12.8	58.6	85.3
大和村	1,442	77	809	1,257	5.3	56.1	87.2
協和村	2,654	129	1,744	2,470	4.9	65.7	93.1
結城郡	9,394	649	5,620	8,622	6.9	57.7	91.8
八千代村	4,202	141	2,438	3,844	3.4	58.0	91.5
千代川村	1,602	102	968	1,500	6.4	60.4	93.6
石下町	3,590	406	2,214	3,278	11.3	61.7	91.3
猿島郡	20,879	1,851	14,434	19,345	8.9	69.1	92.7
総和村	3,449	292	2,822	3,314	8.5	81.8	96.1
五霞村	1,513	66	1,216	1,470	4.4	80.4	97.2
三和村	3,308	283	2,249	2,967	8.6	68.0	89.7
猿島町	2,523	153	1,358	2,273	6.1	53.8	90.1
岩井町	5,975	480	4,058	5,546	8.0	67.9	92.8
境町	4,111	577	2,731	3,775	14.0	66.4	91.8
北相馬郡	11,614	1,392	8,430	10,298	12.0	72.6	88.7
守谷町	2,269	200	1,642	2,069	8.8	72.4	91.2
取手町	5,262	741	3,566	4,356	14.1	67.8	82.8
藤代町	2,388	368	1,931	2,299	15.4	80.9	96.3
利根町	1,695	83	1,291	1,574	4.9	76.2	92.9

毎月勤労統計調査結果速報 （昭和38年３月分）

茨　城　県

第１表　産業常用労働者の種類別及び性別１日平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の１人１日平均現給与額（規模30人以上）（単位円）

産業名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の１日平均現金給与額
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
全常用労働者										
総数	22,193	25,206	12,534	20,298	22,989	11,671	1,895	2,217	863	673
D 鉱業	26,628	28,082	9,975	24,637	25,957	9,519	1,991	2,125	456	426
E 建設業	24,600	27,355	12,063	20,493	22,733	10,304	4,107	4,622	1,759	920
F 製造業	19,114	21,672	11,662	18,484	20,884	10,574	630	788	109	449
18食料品	17,594	22,179	9,305	17,594	22,179	9,305	—	—	—	304
20繊維工業	13,046	21,875	10,182	13,046	21,875	10,182	—	—	—	368
26化学工業	21,258	22,902	17,158	20,802	22,284	17,104	456	618	54	380
30窯業土石製品	21,871	24,303	10,812	21,729	24,139	10,769	142	164	43	596
32非鉄金属	28,556	31,967	12,227	21,303	23,426	11,138	7,253	8,541	1,089	—
33金属製品	15,081	18,075	10,174	15,049	18,038	10,150	32	37	24	—
34機械製造業	16,677	22,539	9,708	16,236	18,238	9,231	441	430	477	—
35電気機械器具製造業	18,267	20,222	10,301	18,267	20,222	10,301	—	—	—	—
19.38.39 その他	27,885	30,596	22,958	27,885	30,596	22,958	—	—	—	—
G 卸売及び小売業	20,067	28,120	11,333	18,839	25,767	11,317	1,228	2,353	16	344
H 金融及び保険業	43,195	54,248	26,057	25,824	31,490	17,039	17,371	22,758	9,018	—
I 不動産業	17,748	21,336	8,921	17,748	21,336	8,921	—	—	—	—
J 運輸通信業	28,119	31,652	17,521	24,952	27,953	15,951	3,167	3,699	1,570	487
K 電気ガス水道業	37,884	38,669	19,544	31,755	32,422	16,190	6,129	6,247	3,354	—
L 医療保健業	36,075	51,762	26,443	25,060	36,663	17,935	11,015	15,019	8,508	400
生産労働者										
D 鉱業	26,083	27,198	8,957	24,360	25,385	8,626	1,723	1,813	331	—
E 建設業	19,721	22,122	8,816	18,646	20,857	8,604	1,075	1,265	212	—
F 製造業	15,965	17,871	10,141	15,705	17,540	10,096	260	331	45	—
18食料品	15,625	20,291	8,511	15,625	20,291	8,511	—	—	—	—
20繊維工業	10,954	15,213	10,098	10,954	15,213	10,098	—	—	—	—
26化学工業	20,213	20,784	19,012	19,733	20,057	19,006	480	727	6	—
30窯業土石製品	20,887	23,071	10,041	20,773	22,936	9,796	114	135	25	—
32非鉄金属	20,317	21,483	10,029	17,114	18,280	10,029	3,203	3,203	—	—
33金属製品	13,711	16,054	9,789	13,678	16,015	9,767	33	39	22	—
34機械製造業	14,111	18,430	9,367	13,570	17,766	8,863	541	664	504	—
35電気機械器具製造業	15,238	16,698	9,725	15,238	16,698	9,725	—	—	—	—
19.38.39 その他	24,173	25,022	22,885	24,173	25,022	22,885	—	—	—	—
管理事務及び技術労働者										
D 鉱業	29,738	33,922	11,845	26,210	29,724	11,159	3,528	4,198	686	—
E 建設業	33,793	36,944	18,440	24,038	26,172	13,642	9,755	10,772	4,798	—
F 製造業	26,293	29,847	12,195	24,819	28,074	11,907	1,474	1,773	288	—
18食料品	24,129	27,033	13,995	24,129	27,033	13,995	—	—	—	—
20繊維工業	22,502	30,340	10,963	22,502	30,340	10,963	—	—	—	—
26化学工業	22,857	25,468	12,466	22,435	24,983	12,292	422	485	174	—
30窯業土石製品	25,059	28,631	13,146	24,827	28,366	13,022	232	265	124	—
32非鉄金属	40,357	47,547	14,183	26,990	31,074	12,125	13,367	16,473	2,058	—
33金属製品業	22,385	29,404	12,065	22,359	29,382	12,033	26	22	32	—
34機械製造業	25,041	30,702	10,435	24,621	30,702	10,015	420	—	420	—
35電気機械器具製造業	24,237	26,863	11,675	24,237	26,863	11,675	—	—	—	—
19.38.39 その他	38,449	43,076	23,308	38,449	43,076	23,308	—	—	—	—

第 2 表

産業常用労働者の種類別及び性別１日平均月間実労働時間数及び出勤日数

（規模30人以上）　（単位時間，日）

総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出勤日数		
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
188.2	191.3	178.4	171.0	171.2	170.4	17.2	20.1	8.0	22.9	22.9	22.7
199.8	200.9	187.3	174.5	174.4	175.7	25.3	26.5	11.6	23.8	23.8	24.0
185.4	187.1	179.1	174.1	174.6	173.6	11.3	12.5	5.5	22.6	22.7	22.6
186.9	190.3	175.4	169.3	169.7	168.0	17.6	20.6	7.4	22.5	22.6	22.3
184.1	193.6	167.0	164.7	166.8	160.8	19.4	26.8	6.2	22.0	22.5	21.0
195.1	194.0	195.5	193.2	187.5	195.1	1.9	6.5	0.4	24.1	23.4	24.4
189.8	194.2	179.1	167.3	166.6	169.3	22.5	27.6	9.8	21.8	21.7	22.2
193.2	195.6	182.4	174.9	174.5	177.0	18.3	21.1	5.4	22.6	22.5	22.9
188.5	197.8	144.3	166.7	172.8	137.6	21.8	25.0	6.7	23.2	23.4	22.3
193.1	186.1	188.0	179.8	179.5	180.2	13.3	16.6	7.8	22.5	22.6	22.4
189.5	193.4	175.5	174.3	176.7	165.9	15.2	16.7	9.6	22.4	22.6	21.5
182.6	186.9	175.0	167.6	167.8	166.7	15.0	19.1	8.3	22.4	22.3	22.5
203.4	204.9	200.6	173.2	169.3	180.3	30.2	35.6	20.3	23.5	23.0	24.4
204.0	207.8	199.8	190.4	189.1	191.8	13.6	18.7	8.0	24.3	24.3	24.3
175.4	176.1	174.5	165.3	164.6	166.5	10.1	11.5	8.0	23.7	23.8	23.6
196.8	207.8	171.7	170.9	172.5	166.9	25.9	34.5	4.8	22.8	23.0	22.3
187.8	192.7	173.1	171.3	174.5	161.9	16.5	18.2	11.2	23.1	23.3	22.4
161.2	161.4	156.5	146.9	146.6	154.0	14.3	14.8	2.5	22.8	22.9	22.3
196.8	201.6	193.9	178.1	178.1	178.1	18.7	23.5	15.8	23.5	23.6	23.4
200.1	201.1	185.3	174.1	174.1	173.8	26.0	27.0	11.5	23.7	23.7	23.1
181.0	183.0	171.2	172.0	172.7	168.4	9.0	10.3	2.8	22.0	22.0	21.9
185.5	188.2	177.5	168.1	167.5	170.0	17.4	20.7	7.5	22.3	22.4	22.2
185.4	198.6	165.3	162.5	164.8	158.9	22.9	33.8	6.4	21.6	22.3	20.5
196.5	189.5	198.0	195.4	183.9	197.8	1.1	5.6	0.2	24.4	23.0	24.7
200.3	209.2	182.2	174.1	175.3	170.9	26.2	33.9	11.3	22.5	22.5	22.3
193.9	196.5	180.9	174.2	173.9	175.8	19.7	22.6	5.1	22.5	22.4	22.8
192.3	196.9	164.6	167.5	168.9	159.2	24.8	28.0	5.4	23.3	23.6	21.7
190.8	193.4	186.4	177.5	177.2	178.0	13.3	16.2	8.4	22.3	22.3	22.2
187.2	229.6	174.3	173.2	210.2	168.3	14.0	19.4	6.0	22.1	26.8	21.9
181.8	183.2	176.6	165.7	165.3	167.3	16.1	17.9	9.3	22.1	22.0	22.4
201.1	202.5	199.0	171.9	166.9	179.4	29.2	35.6	19.6	23.1	22.5	24.0
198.0	199.6	191.0	177.0	176.5	179.0	21.0	23.1	12.0	24.6	24.4	25.6
194.5	194.5	194.6	179.0	178.0	183.8	15.5	16.5	10.8	23.9	23.9	24.0
190.0	195.2	169.4	172.1	174.6	162.3	17.9	20.6	7.1	23.0	23.1	22.7
179.9	180.6	177.3	171.9	171.8	172.3	8.0	8.8	5.0	23.3	23.2	23.4
188.4	199.6	171.9	183.3	192.0	170.5	5.1	7.6	1.4	22.9	24.0	21.3
174.9	175.9	171.2	157.8	156.0	165.2	17.1	19.9	6.0	20.9	20.7	21.8
190.9	192.5	185.9	177.3	176.7	179.6	13.6	15.8	6.3	23.2	23.1	23.2
183.5	199.1	126.3	165.7	178.6	118.5	17.8	20.5	7.8	23.1	23.1	22.9
205.4	211.9	195.9	192.1	192.8	191.1	13.3	19.1	4.8	23.7	24.0	23.3
196.6	204.4	178.2	178.0	185.2	160.8	18.6	19.2	17.4	23.2	24.0	20.8
190.1	193.9	171.3	171.2	172.4	165.3	18.9	21.5	6.0	22.9	23.0	22.7
200.8	210.3	208.2	177.0	174.7	184.5	23.8	35.6	23.7	24.6	23.9	26.8

第 3 表　産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の年月推計延人員（規模30人以上）　（単位，人）

産業名	前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及日雇労働者の月間推計延人員
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
全常用労働者													
総数	126,839	96.915	29,924	2,813	1,376	1,437	3,305	2,219	1,086	126,347	96,072	30,275	72,040
D 鉱業	9,992	9,194	798	204	173	31	201	181	20	9,995	9,186	809	8,545
E 建設業	5,735	4,727	1,008	87	59	28	125	103	22	5,697	4,683	1,014	35,301
F 製造業	82,143	63,024	19,119	1,532	827	705	2,313	1,431	882	81,362	62,420	18,942	6,731
18食料品	3,636	2,312	1,324	92	28	64	206	42	164	3,522	2,298	1,224	579
20繊維工業	1,484	360	1,124	38	2	36	58	—	58	1,464	362	1,102	936
26化学工業	1,574	1,126	448	30	21	9	58	46	12	1,546	1,101	445	21
30窯業土石製品	3,839	3,149	690	105	74	31	81	58	23	3,863	3,165	698	2,086
32非鉄金属	6,277	5,175	1,102	41	39	2	123	72	51	6,195	5,142	1,053	—
33金属製品	1,406	871	535	117	71	46	36	16	20	1,487	926	561	—
34機械製造業	4,815	3,747	1,068	126	78	48	83	49	34	4,858	3,776	1,082	—
35電気機械器具製造業	42,968	34,502	8,426	632	338	294	1,231	906	325	42,369	33,974	8,395	—
19.38.39 その他	1,529	994	535	74	36	38	44	32	12	1,559	998	561	—
G 卸売及び小売業	7,378	4,001	3,377	648	100	548	326	252	74	7,700	3,849	3,851	7,678
H 金融及び保険業	4,406	2,678	1,728	96	37	59	60	14	46	4,442	2,701	1,741	—
I 不動産業	388	274	114	4	3	1	6	—	6	386	277	109	—
J 運輸通信業	14,881	11,180	3,701	224	159	65	267	231	36	14,838	11,108	3,730	13,785
K 電気ガス水道業	1,916	1,837	79	18	18	—	7	7	—	1,927	1,848	79	—
L 医療保健業	3,105	1,193	1,912	77	6	71	39	15	24	3,143	1,184	1,959	1,024
生産労働者													
D 鉱業	8,500	7,979	521	179	167	12	182	169	13	8,497	7,977	520	—
E 建設業	3,741	3,068	673	54	40	14	109	89	20	3,686	3,019	667	—
F 製造業	57,204	43,067	14,137	1,169	669	500	1,928	1,177	751	56,445	42,559	13,886	—
18食料品	2,813	1,668	1,145	68	19	49	193	33	160	2,688	1,654	1,034	—
20繊維工業	1,222	201	1,021	24	2	22	54	—	54	1,192	203	989	—
26化学工業	943	622	321	25	16	9	50	39	11	918	599	319	—
30窯業土石製品	2,943	2,459	484	74	53	21	75	55	20	2,942	2,457	485	—
32非鉄金属	3,635	3.106	529	8	7	1	96	52	44	3,547	3,061	486	—
33金属製品	1,176	735	441	110	68	42	26	13	13	1,260	790	470	—
34機械製造業	3,664	2,926	738	82	67	15	71	44	27	3,675	2,949	726	—
35電気機械器具製造業	28,555	22,599	5,956	505	306	199	1,003	746	257	28,057	22,159	5,898	—
19.38.39 その他	1,133	689	444	52	20	32	33	21	12	1,152	688	464	—
管理事務及び技術労働者													
D 鉱業	1,492	1,215	277	25	6	19	19	12	7	1,498	1,209	289	—
E 建設業	1,994	1,659	335	33	19	14	16	14	2	2,011	1,664	347	—
F 製造業	24,939	19,957	4,982	363	158	205	385	254	131	24,917	19,861	5,056	—
18食料品	823	644	179	24	9	15	13	9	4	834	644	190	—
20繊維工業	262	159	103	14	—	14	4	—	4	272	159	113	—
26化学工業	631	504	127	5	5	—	8	7	1	628	502	126	—
30窯業土石製品	896	690	206	31	21	10	6	3	3	921	708	213	—
32非鉄金属	2,642	2,069	573	33	32	1	27	20	7	2,648	2,081	567	—
33金属製品	230	1,316	94	7	3	4	10	3	7	227	136	91	—
34機械製造業	1,151	821	330	44	11	33	12	5	7	1,183	827	356	—
35電気機械器具製造業	14,413	11,943	2,470	127	32	95	228	160	68	14,312	11,815	2,497	—
19.38.39 その他	396	305	91	22	16	6	11	11	—	407	310	97	—

毎月勤労統計調査結果速報 (昭和38年4月分)

茨　城　県

第1表　産業常用労働者の種類別及び性別1日平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現給与額（規模30人以上）（単位円）

産業名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の1日平均現金給与額
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
全常用労働者										
総数	21,666	24,519	12,864	21,190	23,990	12,553	476	529	311	653
D 鉱業	23,884	25,117	9,239	23,884	25,117	9,239	—	—	—	424
E 建設業	21,434	23,463	11,242	20,619	22,527	11,035	815	936	207	893
F 製造業	20,041	22,670	11,665	19,779	22,396	11,439	262	274	226	475
18食料品	18,717	23,285	10,061	18,717	23,285	10,061	—	—	—	126
20繊維工業	13,970	24,771	11,185	13,970	24,771	11,185	—	—	—	536
26化学工業	20,652	25,395	8,833	20,652	25,395	8,833	—	—	—	—
30窯業土石製品	22,284	24,106	13,910	22,277	24,103	13,892	7	3	18	563
32非鉄金属	22,153	24,246	11,683	22,153	24,246	11,683	—	—	—	675
33金属製品	14,971	17,870	10,073	14,849	17,740	9,945	122	130	128	—
34機械製造業	16,866	18,939	9,726	16,866	18,939	9,726	—	—	—	500
35電気機械器具製造業	20,742	23,147	11,421	20,435	22,810	11,226	307	337	195	459
19.38.39 その他	28,749	33,413	21,309	22,986	26,927	16,583	5,763	6,486	4,726	4,315
G 卸売及び小売業	20,533	28,641	12,531	18,767	25,369	12,251	1,766	3,272	280	351
H 金融及び保険業	27,765	33,848	18,649	27,726	33,801	18,265	39	47	24	—
I 不動産業	19,015	22,808	10,028	19,015	22,808	10,028	—	—	—	—
J 運輸通信業	27,188	30,571	17,528	25,862	29,135	16,516	1,326	1,436	1,012	438
K 電気ガス水道業	31,832	32,436	17,734	31,832	32,436	17,734	—	—	—	—
L 医療保健業	25,329	36,470	18,458	25,329	36,470	18,458	—	—	—	395
生産労働者										
D 鉱業	23,412	24,354	8,337	23,412	24,354	8,337	—	—	—	—
E 建設業	18,249	20,054	9,130	18,222	20,028	9,096	27	26	34	—
F 製造業	15,731	18,667	11,214	15,560	18,517	10,981	171	150	233	—
18食料品	16,400	20,852	9,234	16,400	20,852	9,234	—	—	—	—
20繊維工業	11,844	18,393	10,810	11,844	18,393	10,810	—	—	—	—
26化学工業	15,861	21,460	5,965	15,861	21,460	5,965	—	—	—	—
30窯業土石製品	20,964	22,273	14,126	20,964	22,273	14,126	—	—	—	—
32非鉄金属	17,104	18,065	10,700	17,104	18,065	10,700	—	—	—	—
33金属製品	13,762	16,227	9,446	13,644	16,112	9,318	118	115	128	—
34機械製造業	14,270	15,667	9,042	14,270	15,667	9,042	—	—	—	—
35電気機械器具製造業	17,140	18,978	10,630	17,140	18,978	10,630	—	—	—	—
19.38.39 その他	24,673	27,690	20,548	20,511	23,781	16,113	4,162	3,909	4,435	—
管理事務及び技術労働者										
D 鉱業	26,473	29,906	10,853	26,473	29,906	10,853	—	—	—	—
E 建設業	27,304	29,761	15,082	25,037	27,143	14,562	2,267	2,618	520	—
F 製造業	27,369	31,041	12,936	26,903	30,509	12,729	466	532	207	—
18食料品	25,202	28,555	13,855	25,202	28,555	13,855	—	—	—	—
20繊維工業	25,083	32,849	15,068	25,083	32,849	15,068	—	—	—	—
26化学工業	26,919	30,214	14,314	26,919	30,214	14,314	—	—	—	—
30窯業土石製品	26,440	30,425	13,403	26,433	30,422	13,385	7	3	18	—
32非鉄金属	28,664	33,054	12,459	28,664	33,054	12,459	—	—	—	—
33金属製品業	21,709	27,693	12,974	2,1469	27,453	12,974	240	240	—	—
34機械製造業	24,315	29,030	11,282	24,315	29,030	11,282	—	—	—	—
35電気機械器具製造業	27,421	30,512	12,907	26,856	29,874	12,685	565	638	222	—
19.38.39 その他	40,930	45,538	25,816	30,539	34,201	19,106	10,391	11,337	6,710	—

第 2 表　産業常用労働者の種類別及び性別１日平均月間実労働時間数及び出勤日数

（規模30人以上）　（単位時間，日）

産業名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出勤日数		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
全常用労働者												
総数	**200.6**	**202.1**	**196.4**	**183.8**	**182.6**	**187.9**	**16.8**	**19.5**	**8.5**	**24.5**	**24.4**	**24.7**
D 鉱業	194.2	195.0	184.7	167.0	166.6	171.6	27.2	28.4	13.1	23.1	23.1	23.8
E 建設業	192.2	194.0	183.0	180.6	181.5	176.3	11.6	12.5	6.7	23.2	23.3	22.9
F 製造業	203.2	205.4	196.2	186.6	185.7	189.5	16.6	19.7	6.7	24.6	24.6	24.5
18食料品	197.0	202.8	185.8	179.8	180.2	178.9	17.2	22.6	6.9	24.1	24.5	23.3
20繊維工業	208.8	211.3	208.2	206.6	201.9	207.8	2.2	9.4	0.4	26.3	25.2	26.6
26化学工業	203.1	223.7	151.5	179.0	192.5	145.4	24.1	31.2	6.1	23.4	24.5	18.6
30窯業土石製品	204.4	204.9	202.3	186.9	185.0	195.3	17.5	19.9	7.0	24.1	24.0	24.7
32非鉄金属	198.0	191.5	177.1	172.9	173.0	172.5	16.1	18.5	4.6	24.0	24.1	23.5
33金属製品	207.3	219.0	187.2	192.0	200.4	177.6	15.3	18.6	9.6	24.9	25.1	24.5
34機械製造業	204.1	209.9	184.2	190.6	194.1	178.5	13.5	15.8	5.7	24.9	25.4	23.2
35電気機械器具製造業	204.5	203.6	208.4	187.9	185.0	199.6	16.6	18.6	8.8	24.6	24.5	24.9
19.38.39 その他	194.8	207.2	174.5	177.0	179.9	172.2	17.8	27.3	2.3	23.6	24.2	22.7
G 卸売及び小売業	213.7	211.2	218.0	202.0	197.7	208.0	11.7	13.5	10.0	26.5	25.8	27.1
H 金融及び保険業	191.9	190.9	194.2	180.0	177.3	185.0	11.9	13.6	9.2	25.7	25.4	26.3
I 不動産業	210.8	219.1	191.2	183.2	182.4	185.2	27.6	36.7	6.0	24.4	24.3	24.7
J 運輸通信業	192.9	196.9	181.7	175.1	178.1	166.6	17.8	18.8	15.1	23.6	23.8	23.3
K 電気ガス水道業	174.7	175.2	162.5	161.5	161.6	159.4	13.2	13.6	3.1	23.9	24.0	22.7
L 医療保健業	217.2	216.3	217.7	198.4	194.7	200.6	18.8	21.6	17.1	25.7	25.6	25.9
生産労働者												
D 鉱業	192.8	193.4	182.3	165.3	165.0	168.9	27.5	28.4	13.4	22.8	22.7	22.9
E 建設業	184.1	186.8	170.8	175.6	177.4	166.6	8.5	9.4	4.2	22.3	22.4	21.6
F 製造業	201.6	203.4	196.4	185.3	183.9	189.4	16.3	19.5	7.0	24.4	24.4	24.4
18食料品	195.8	185.2	185.2	175.3	156.6	177.6	20.5	28.6	7.6	23.6	23.9	23.0
20繊維工業	207.2	206.5	207.3	206.0	199.6	207.0	1.2	6.9	0.3	26.3	24.9	26.5
26化学工業	187.2	224.8	120.9	161.2	187.1	115.5	26.0	37.7	5.4	20.8	24.5	14.4
30窯業土石製品	203.3	205.1	193.2	184.1	183.3	187.9	19.2	21.8	5.3	23.8	23.7	24.3
32非鉄金属	190.2	192.7	162.4	172.1	172.4	158.7	18.1	20.3	3.7	23.6	23.8	22.8
33金属製品	203.6	216.6	180.8	188.8	199.0	171.1	14.8	17.6	9.7	24.6	25.0	24.1
34機械製造業	198.2	203.2	179.6	185.5	188.6	174.0	12.7	14.6	5.6	24.2	24.7	22.6
35電気機械器具製造業	203.4	200.6	213.4	187.5	183.0	203.6	15.9	17.6	9.8	24.4	24.2	24.9
19.38.39 その他	194.2	212.0	170.4	176.5	182.1	169.1	17.7	29.9	1.3	23.4	24.3	22.2
管理事務及び技術労働者												
D 鉱業	202.4	205.3	189.1	176.6	176.6	176.3	25.8	28.7	12.8	25.1	25.0	25.5
E 建設業	207.0	207.4	205.2	189.8	189.0	193.9	17.2	18.4	11.3	25.1	25.0	25.3
F 製造業	206.8	209.5	196.1	189.6	189.5	189.9	17.2	20.0	6.2	25.2	25.3	24.8
18食料品	200.2	203.7	188.7	191.9	194.1	184.7	8.3	9.6	4.0	25.5	25.6	25.0
20繊維工業	217.2	217.4	216.9	209.7	204.9	215.8	7.5	12.5	1.1	26.2	25.6	27.0
26化学工業	217.2	222.5	191.5	197.3	199.2	184.7	19.9	23.3	6.8	26.2	26.5	25.3
30窯業土石製品	208.1	203.9	222.0	195.7	190.9	211.4	12.4	13.0	10.6	25.1	25.0	25.4
32非鉄金属	189.4	189.5	188.7	175.8	173.7	183.4	13.6	15.8	5.3	24.5	24.6	24.1
33金属製品業	227.2	233.6	218.0	209.1	209.1	209.1	18.1	24.5	8.9	26.1	26.0	26.3
34機械製造業	220.9	230.4	194.4	205.1	210.9	188.8	15.8	19.5	5.6	26.9	27.8	24.6
35電気機械器具製造業	206.9	209.2	196.0	188.9	188.7	189.8	18.0	20.5	6.2	25.1	25.1	25.0
19.38.39 その他	169.3	196.0	197.3	178.3	174.8	189.2	18.0	21.2	8.1	24.4	24.1	25.4

第 3 表　産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の年月推計延人員（規模30人以上）　（単位，人）

前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及び日雇労働者の月間推計延人員
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
126,347	**95,883**	**30,464**	**7,638**	**4,720**	**2,918**	**4,943**	**3,633**	**1,310**	**129,042**	**96,970**	**32,072**	**6,298**
9,995	9,222	773	231	208	23	342	316	26	9,884	9,114	770	8,737
5,697	4,731	966	369	357	12	332	285	47	5,734	4,803	931	30,159
81,362	62,200	19,162	5,053	3,241	1,812	3,571	2,663	908	82,844	62,778	20,066	11,591
3,522	2,327	1,195	169	73	96	217	125	92	3,474	2,275	1,199	1,981
1,464	316	1,148	278	19	259	54	5	49	1,688	330	1,358	1,476
1,546	1,086	460	65	55	10	46	7	39	1,565	1,134	431	—
3,863	3,166	697	170	131	39	108	67	41	3,925	3,230	695	1,679
6,195	5,142	1,053	394	346	48	225	163	62	6,364	5,325	1,039	3,089
1,487	926	561	126	98	28	67	42	25	1,546	982	564	—
4,858	3,777	1,081	554	392	162	91	57	34	5,321	4,112	1,209	40
42,369	33,834	8,535	2,237	1,545	692	2,261	1,867	394	42,345	33,512	8,833	61
1,559	961	598	45	32	13	22	10	12	1,582	983	599	65
7,700	3,849	3,851	564	214	350	213	89	124	8,051	3,974	4,077	6,005
4,442	2,701	1,741	531	237	294	147	81	66	4,826	2,857	1,969	—
386	277	109	43	21	22	29	21	8	400	277	123	—
14,838	11,055	3,783	820	415	405	272	141	131	15,386	11,329	4,057	6,495
1,927	1,848	79	27	27	0	37	37	—	1,917	1,838	79	—
3,143	1,225	1,918	287	51	236	100	32	68	3,330	1,244	2,086	997
8,451	7,958	493	193	177	16	285	273	12	8,359	7,862	497	—
3,711	3,082	629	278	276	2	290	254	36	3,699	3,104	595	—
56,323	42,255	14,068	3,544	2,072	1,472	2,691	2,029	662	57,176	42,298	14,878	—
2,583	1,601	982	142	57	85	188	105	83	2,537	1,553	984	—
1,220	175	1,045	259	16	243	53	5	48	1,426	186	1,240	—
938	609	329	18	10	8	42	6	36	914	613	301	—
2,940	2,457	483	118	100	18	85	54	31	2,973	2,503	470	—
3,545	3,059	486	146	140	6	162	107	55	3,529	3,092	437	—
1,260	790	470	95	82	13	49	28	21	1,306	844	462	—
3,638	2,911	727	346	192	154	74	57	17	3,910	3,046	864	—
8,021	22,002	6,019	1,575	1,049	526	1,633	1,392	241	27,963	21,659	6,304	—
1,175	670	5,015	34	24	10	18	7	11	1,191	687	504	—
1,544	1,264	280	38	31	7	57	43	14	1,525	1,252	273	—
1,986	1,649	337	91	81	10	42	31	11	2,035	1,699	336	—
25,039	19,945	5,094	1,509	1,169	340	880	634	246	25,668	20,480	5,188	—
939	726	213	27	16	11	29	20	9	937	722	215	—
244	141	103	19	3	16	1	—	1	262	144	118	—
608	477	131	47	45	2	4	1	3	651	521	130	—
923	709	214	52	31	21	23	13	10	952	727	225	—
2,650	2,083	567	248	206	42	63	56	7	2,835	22,313	602	—
227	136	91	31	16	15	18	14	4	240	138	102	—
1,220	866	354	208	200	8	17	—	17	1,411	1,066	345	—
14,348	11,832	2,516	662	496	166	628	475	153	14,382	11,853	2,529	—
384	291	93	11	8	3	4	3	1	391	296	915	—

市　郡　別　自

市郡別	総合計	登録車両合計				貨					
						普通車				小型	
		自家用	官庁用	営業用	計	自家用	官庁用	営業用	計	自家用	官庁用
総数	**120,085**	**39,818**	**1,765**	**6,022**	**47,605**	**3,192**	**358**	**1,728**	**5,278**	**19,419**	**521**
市計	**54,973**	**22,923**	**1,259**	**4,248**	**28,430**	**1,968**	**260**	**1,258**	**3,486**	**11,675**	**378**
水戸市	12,266	6,073	678	931	7,682	383	124	167	674	3,152	210
日立市	8,691	4,605	114	1,060	5,779	497	25	433	955	2,327	22
土浦市	5,507	1,968	68	542	2,578	128	6	177	311	1,025	26
古河市	2,207	917	19	160	1,096	75	—	53	128	465	11
石岡市	2,665	979	26	188	1,193	39	3	46	88	514	11
下館市	3,331	1,027	69	195	1,291	87	18	53	158	584	27
結城市	2,236	792	13	56	861	58	4	15	77	445	3
竜ケ崎市	2,423	737	26	95	858	30	4	28	62	373	9
那珂湊市	1,816	1,015	28	127	1,170	84	5	47	136	345	9
下妻市	1,769	518	16	163	697	18	2	32	52	313	3
水海道市	1,725	569	15	115	699	42	2	27	71	340	4
常陸太田市	2,366	827	82	170	1,079	127	42	35	204	387	23
勝田市	2,910	945	28	143	1,116	39	5	54	98	411	3
高萩市	1,371	612	33	118	763	105	8	44	157	296	10
北茨城市	2,150	915	25	116	1,056	177	7	31	215	508	—
笠間市	1,540	424	19	69	512	79	5	16	100	190	7
郡計	**64,294**	**16,895**	**506**	**1,774**	**19,175**	**1,224**	**98**	**470**	**1,792**	**7,744**	**143**
東茨城郡	5,604	2,277	58	198	2,533	130	13	43	186	919	20
西茨城郡	3,046	795	42	95	932	112	13	19	144	375	4
那珂郡	4,860	1,658	61	169	1,888	175	10	47	232	607	18
久慈郡	2,131	798	50	98	946	106	11	36	153	389	12
多賀郡	261	105	—	15	120	16	—	8	24	43	—
鹿島郡	5,029	2,162	45	301	2,508	135	10	69	214	984	11
行方郡	3,504	1,258	40	132	1,430	47	5	38	90	653	14
稲敷郡	8,471	1,865	40	132	2,037	96	5	38	139	861	8
新治郡	5,540	977	31	105	1,113	35	5	22	62	401	10
筑波郡	7,285	1,113	26	118	1,257	80	4	22	106	555	8
真壁郡	4,227	981	21	63	1,065	104	5	18	127	512	6
結城郡	2,482	726	24	68	818	63	4	33	100	366	6
猿島郡	8,190	1,557	46	201	1,804	61	10	61	132	787	17
北相馬郡	3,664	623	22	79	724	64	3	16	83	292	9

動　　車　　数

物						車							
四輪		三輪				被けん引車				計			
営業用	計	自家用	官庁用	営業用	計	自家用	官庁用	営業用	計	自家用	官庁用	営業用	計
644	20,584	9,622	134	569	10,325	6	13	19	38	32,239	1,026	2,960	36,225
513	12,566	3,959	72	392	4,423	1	9	19	29	17,604	717	2,182	20,503
110	3,472	622	31	84	737	—	4	6	10	4,157	369	367	4,893
142	2,491	666	6	59	731	1	—	13	14	3,491	53	647	4,191
71	1,122	366	2	27	395	—	1	—	1	1,519	35	275	1,829
23	499	163	2	29	194	—	—	—	—	703	13	105	821
28	553	233	1	38	272	—	—	—	—	786	15	112	913
29	640	158	5	21	184	—	—	—	—	829	50	103	982
4	452	180	1	4	185	—	—	—	—	683	8	23	714
12	394	189	—	11	200	—	—	—	—	592	13	51	656
18	372	471	3	10	484	—	—	—	—	900	17	75	992
14	330	103	—	38	141	—	—	—	—	434	5	84	523
15	359	82	4	5	91	—	—	—	—	464	10	47	521
19	429	172	4	15	191	—	1	—	1	686	70	69	825
15	429	282	7	26	315	—	1	—	1	733	15	95	843
3	309	75	3	17	95	—	1	—	1	476	22	64	562
5	513	112	3	7	122	—	—	—	—	797	10	43	850
5	202	85	—	1	86	—	—	—	—	354	12	22	388
131	8,018	5,663	62	177	5,902	4	6	—	10	14,635	309	778	15,722
13	952	998	4	13	1,015	—	—	—	—	2,047	37	69	2,153
2	381	192	8	—	200	—	1	—	1	679	26	21	726
16	641	491	5	31	527	3	1	—	4	1,276	34	94	1,404
5	406	163	5	6	174	—	1	—	1	658	29	47	734
—	43	32	—	—	32	—	—	—	—	91	—	8	99
20	1,015	850	5	81	936	—	1	—	1	1,969	27	170	2,166
8	675	420	6	12	438	—	—	—	—	1,120	25	58	1,203
18	887	699	6	9	714	—	1	—	1	1,656	20	65	1,741
8	419	418	7	3	428	—	—	—	—	854	22	33	909
6	569	274	3	—	277	1	—	—	1	910	15	28	953
5	523	240	3	2	245	—	1	—	1	856	15	25	896
12	384	203	5	6	214	—	—	—	—	632	15	51	698
16	820	547	5	8	560	—	—	—	—	1,395	32	85	1,512
2	303	136	—	6	142	—	—	—	—	492	12	24	528

市郡別	乗合				乗用						
					普通				小		
	自家用	官庁用	営業用	計	自家用	官庁用	営業用	計	自家用	官庁用	営業用
総数	**139**	**22**	**1,438**	**1,599**	**132**	**125**	**41**	**298**	**6,491**	**293**	**1,259**
市計	**91**	**16**	**1,044**	**1,151**	**106**	**100**	**35**	**241**	**4,516**	**186**	**841**
水戸市	13	11	301	325	41	72	10	123	1,690	122	204
日立市	25	1	160	186	24	7	21	52	882	4	220
土浦市	10	—	173	183	15	3	1	19	397	12	90
古河市	3	—	8	11	2	1	—	3	190	1	41
石岡市	6	1	39	46	2	4	—	6	163	1	32
下館市	5	—	60	65	3	1	—	4	162	9	25
結城市	6	—	4	10	—	—	—	—	86	1	25
竜ケ崎市	6	—	23	29	3	4	1	8	120	3	17
那珂湊市	1	1	16	18	1	1	—	2	99	4	27
下妻市	—	—	55	55	—	—	—	—	74	2	16
水海道市	—	—	47	47	1	—	1	2	93	1	15
常陸太田市	—	—	66	66	1	1	—	2	120	8	26
勝田市	6	1	3	10	6	2	1	9	174	5	31
高萩市	4	—	34	38	3	3	—	6	114	4	16
北茨城市	5	1	35	41	3	—	—	3	92	6	34
笠間市	1	—	20	21	1	1	1	2	60	3	22
郡計	**48**	**6**	**394**	**448**	**26**	**25**	**6**	**57**	**1,975**	**107**	**418**
東茨城郡	1	—	38	39	6	4	1	11	201	9	57
西茨城郡	1	—	21	22	1	2	—	3	99	7	31
那珂郡	9	1	21	31	7	1	1	9	344	15	47
久慈郡	—	—	15	15	—	3	2	5	125	5	30
多賀郡	—	—	2	2	2	—	—	2	10	—	5
鹿島郡	13	—	57	70	2	1	—	3	158	11	42
行方郡	1	—	30	31	—	—	—	—	123	14	40
稲敷郡	1	1	25	27	3	7	—	10	188	10	28
新治郡	—	1	34	35	—	—	1	1	115	8	20
筑波郡	7	2	48	57	2	1	1	4	174	5	33
真壁郡	—	—	12	12	—	1	—	1	106	4	18
結城郡	1	1	—	2	—	—	—	—	86	7	5
猿島郡	10	—	74	84	1	3	—	4	140	7	34
北相馬郡	4	—	17	21	2	2	—	4	106	5	28

用					特殊用途車				特殊車	建設機械	小型二輪車	農耕作業者	軽自動車
型	計												
計	自家用	官庁用	営業用	計	自家用	官庁用	営業用	計					
8,043	6,623	418	1,300	8,341	463	764	89	1,316	115	9	507	37,761	34,212
5,543	4,622	286	876	5,784	413	410	82	905	78	9	265	9,058	17,220
2,016	1,731	194	214	2,139	156	113	17	286	36	3	124	24	4,436
1,106	906	11	241	1,158	135	50	36	221	18	5	38	187	2,687
499	412	15	91	518	17	26	3	46	2	—	27	1,263	1,639
232	192	2	41	235	7	19	2	28	1	—	1	271	839
196	165	5	32	202	11	15	6	32	—	—	15	762	695
196	165	10	25	200	11	22	8	41	2	1	7	1,243	790
112	86	1	25	112	3	18	2	23	2	—	3	696	676
140	123	7	18	148	8	12	1	21	4	—	10	872	683
130	100	5	27	132	6	20	2	28	—	—	2	17	627
92	74	2	16	92	7	20	—	27	—	—	8	454	610
109	94	1	16	111	5	12	1	18	2	—	3	468	555
154	121	9	26	156	1	25	—	26	6	—	4	668	615
210	180	7	32	219	23	17	3	43	1	—	7	834	953
134	117	7	16	140	7	13	1	21	2	—	6	268	334
132	95	6	34	135	12	17	—	29	1	—	5	583	506
85	61	4	22	87	4	11	—	15	1	—	5	448	575
2,500	2,001	132	424	2,557	50	354	7	411	37	—	242	28,703	16,992
267	207	13	58	278	6	51	—	57	6	—	41	975	2,055
137	100	9	31	140	4	34	—	38	6	—	21	1,273	820
406	351	16	48	415	11	25	1	37	1	—	28	1,530	1,414
160	125	8	32	165	2	28	—	30	2	—	19	415	751
15	12	—	5	17	—	2	—	2	—	—	1	60	80
211	160	12	42	214	6	46	—	52	6	—	12	1,086	1,423
177	123	14	40	177	2	12	3	17	2	—	7	1,236	831
226	191	17	28	236	3	26	1	30	3	—	31	4,350	2,053
143	115	8	21	144	—	22	—	22	3	—	16	2,981	1,430
212	176	6	34	216	4	25	—	29	2	—	16	4,328	1,684
128	106	5	18	129	2	22	—	24	4	—	18	2,200	944
98	86	7	5	98	1	17	—	18	2	—	9	1,692	781
181	141	10	34	185	5	17	1	23	—	—	17	4,591	1,778
139	108	7	28	143	4	27	1	32	—	—	6	1,986	948

茨城県産業総合指数 (昭和35年基準)

年次	産業総合	公益事業	鉱工業	鉱業 鉱業	鉱業 石炭鉱業	鉱業 金属鉱業	鉱業 非金属鉱業	製造業
ウエイト	100.0	0.60	99.40	11.42	70.92	25.69	3.39	88.58
31年平均	—	—	43.80	85.42	80.46	107.05	43.58	38.38
32	—	—	59.45	98.65	94.00	119.26	55.50	54.41
33	—	—	67.21	90.62	91.17	94.44	49.45	64.21
34	—	—	86.20	86.46	84.99	95.03	52.59	86.17
35	—	—	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
36	132.31	96.86	132.52	102.92	101.79	103.76	120.25	136.34
37年平均	133.54	97.24	133.77	103.45	99.14	112.58	124.77	137.69
37年12月	129.97	97.83	130.18	102.69	97.14	118.46	99.64	133.74
38年1月	136.73	90.53	137.02	94.60	91.90	102.77	89.65	142.50
2月	136.94	85.33	137.26	103.64	99.33	115.09	107.54	141.61

年次	製造業 鉄鋼業	非鉄金属工業	一般機械	電気機械	輸送機械	精密機械	窯業	化学工業
ウエイト	2.92	17.21	10.47	27.99	2.38	0.82	4.95	2.85
31年平均	67.55	35.00	65.09	19.50	240.67	12.97	67.30	72.36
32	91.63	44.65	111.07	49.21	44.08	14.49	83.30	74.35
33	69.71	39.42	104.15	46.25	153.90	25.22	74.54	77.57
34	83.07	75.44	111.82	68.08	286.34	36.30	81.18	84.92
35	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
36	128.52	140.20	155.80	143.77	193.60	155.45	100.35	107.00
37年平均	128.42	107.89	145.73	171.67	215.11	653.28	98.81	90.76
37年12月	115.48	134.64	213.46	118.60	221.58	849.89	118.83	81.30
38年1月	91.48	116.99	280.40	113.84	217.96	799.75	89.26	69.79
2月	158.58	100.95	160.13	124.70	244.47	827.91	109.20	111.90

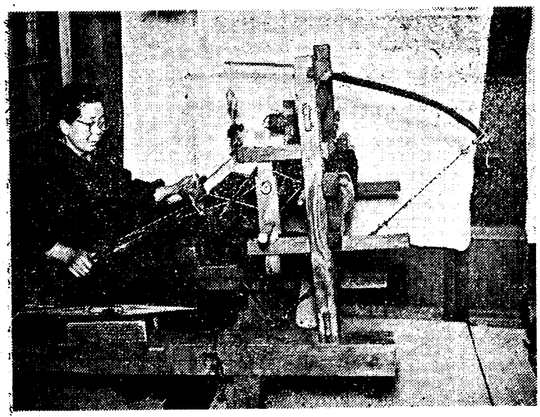
年次	製造業 石油，石炭製品製造業	皮革同製品製造業	パルプ紙紙加工品製造業	繊維工業	木材及び木製品製造業	食料品製造業	たばこ製造業	その他の製造業
ウエイト	0.28	0.14	1.43	2.31	3.96	10.44	7.13	4.97
31年平均	32.64	98.28	41.75	135.07	67.92	61.31	—	74.42
32	35.80	93.68	44.59	93.42	62.62	61.54	—	77.80
33	30.97	90.84	48.18	92.58	61.56	65.31	—	82.14
34	36.15	89.09	59.53	96.40	85.55	75.00	—	102.63
35	100.00	100 00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
36	96.24	117.94	120.46	142.27	116.80	169.52	81.79	130.22
37年平均	94.47	172.06	149.67	165.19	112.56	118.99	81.79	114.21
37年12月	89.76	166.96	162.51	160.48	116.80	84.91	76.65	119.44
38年1月	85.05	193.28	142.87	157.10	117.81	184.35	64.71	116.57
2月	80.74	189.44	155.36	174.62	117.81	238.31	67.39	119.24

☆統計資料案内☆

資料名	調査年 刊行年	発行者
人口		
全国年令別人口の推計	37.10.1	総理府統計局
都道府県，人口の推計	〃	〃
国勢調査報告（群馬）	35	〃
〃（神奈川）	〃	〃
〃（島根）	〃	〃
〃（熊本）	〃	〃
〃（福岡）	〃	〃
〃（千葉）	〃	〃
〃（鹿児島）	〃	〃
従業通学地に関する結果速報（群馬）	35	総理府統計局
〃（宮崎）	〃	〃
〃（福岡）	〃	〃
〃（千葉）	〃	〃
〃（奈良）	〃	〃
〃（山形）	〃	〃
経済財政		
漁業経済調査報告	36	農林省
物財統計報告農家経済調査	〃	農林省農林経済局統計調査部
個人企業経済調査結果速報	37 10～12	総理統計局
産業		
農家調査報告書	1960	農林省統計調査部
上層農の分析	〃	〃
農家生計費調査報告	36	農林省農林経済局統計調査
水産物流通統計年報	〃	農林省統計調査部
全国機械工業名簿	38年版	通商産業省
鹿島臨海工業地帯の造成に伴う農業経営改善対策の概要	38.3	茨城県
茨城県漁業の概要と沿岸漁業構造改善	38.3	農林水産部漁政課
教育統計報告書	37	総務部統計課
工業統計調査結果の概況	36	茨城県
教育統計報告書	37	総務部統計課

資料名	調査年 刊行年	発行者
企業経営と賃金	38.3	茨城県経営者協会
モデル賃金調査結果報告	〃	〃
賃金水準物価家計収支の推移	〃	〃
昭和38年4月に於ける初任給の動向	〃	〃
最近の物価問題と賃金家計の動向	〃	〃
茨城県水産試験場試験報告	35年度	水産試験場
〃	34	〃
石岡市の商業	38	石岡市
主要農産物販売農家集計結家	35.2.1	総務部文書統計課
農業経済改善対策の概要	〃	
茨城の工業開発	1963	茨城県
徳島県勢要覧	38	〃
統計目黒	37	徳島県総務部統計課
岩手県勢一覧	38	東京都目黒区
図書目録 *No.* 2	37	岩手県
長野県統計書	35.36	愛知県総務部統計課
商業統計調査結果報告	38.3	長野県
毎月勤労統計調査地方調査結果報告	37報	徳島県総務統計課
兵庫県市町村別推計人口	37	労働大臣官房調査統計部
宮崎県の県民所得	36	兵庫県総務部文書統計課
兵庫県勢要覧	38版	宮崎県総務部統計課
工業統計調査結果表	36.1961	兵庫県
岩手県統計年鑑	36	大阪府
福井県市町村勢要覧	〃	岩手県
学校基本調査 保健統計調査 結果報告書	37	福井県統計協会
本県畜産農業の実態	378.1	島根県総務部統計課
学校統計結果報告書	37	千葉県総務部統計課
愛知県統計年鑑	38	徳島県
福岡県民所得報告書	36	愛知県
愛媛県総務部統計課	商業統計調査37	福岡県
昭和36年愛媛県民所得推計結果速報	36	愛媛県総務部統計課
愛媛県農家就業動向実態調査	3712.1	〃
兵庫県統計書	36	〃
岡山県市町村勢要覧	37刊	兵庫県
商学論集	38年	岡山県統計協会
日本統計制度再建史		西南学院大学学術研究所
学校基本調査結果報告	37年度	財団法人日本統計研究所 大阪府総務部統計課

郷土産業めぐり (1)



〔　　　　　　　　　　　〕

はじめに

今月号から「郷土産業めぐり」と題して商工労働部商工指導課の協力を得て，県下の産業で特産物といわれるものを順に紹介することになりました。ご存知のとおり本県には，本稿でご紹介する結城紬をはじめとして，笠間市の笠間焼，真壁，羽黒，稲田の石材，下館市の菓子など数々の特産物があります。これら特産物にはそれぞれの歴史と伝統があり，その地域の特色を物語ると同時にこれら特産といわれる産業が当面どのような問題につきあたつているか，さらに将来への発展性をどの程度期待してよいかなど，いろいろの角度から紹介してみようと考えております。

結城紬

プロローグ

化学繊維の進出で絹織物は昭和33年頃に不況に襲われたが，その後，和服の人気が急に高まり，最近では衣生活の向上もあつて異常な絹ブームを起こしている。

結城という地名からだれもがすぐに連想するものは，あのやわらかい手ざわりと，高級な色あいの結城紬でしよう。

結城紬のよさは，今日のようにオートメ化された時代にあつて，昔そのままの原始的な糸つむぎにはじまり，正藍の香りを染め，いざりはたの織り出すカスリの渋味をおびた精緻な模様にあります。

その歴史

今から約1,500年前を第1期時代といわれ平安時代中期に，当時常陸紬として知られていました。平安時代末期より鎌倉時代末期までを第2期時代といわれ，このころすでに諸国名産の一つに揚げられていました。南北朝時代室町戦国時代を経て桃山時代の初期までを第3期時代といわれ，乱世で地方の機業が衰えた時にも，常陸紬の名声は京都方面にまで知られていたということです。

室町時代に結城城主が年々幕府や鎌倉管領にこれを献上していたことから，ますますその名が知られるようになり，当時の結城藩主結城氏より時の朝廷へ貢物として献上するようになつて，ここに始めて結城紬の本名を使用し，貴重な織物として珍重されるようになつたのであります。

江戸時代天保改革のおり幕府は絹織物使用禁止令を発し，これにより庶民は木綿物以外を身につけることが出来なくなつた。その頃結城地方ではたびたび鬼怒川の洪水におそわれ綿が不足し，そのため領主はやむなく養蚕を奨励して真綿をひかせ，綿から糸をつむいだ技術を真綿に応用させ布地（絁…あしぎぬ）を織らせたところ，これが木綿のものと全く区別がつかないような布地が出来上つたので，幕府でもこれを着ることを敢てとがめなかつた。これが結城紬の簡単な歴史でありますが，朝廷への貢物や殿上人の間にしか用いられなかつた結城紬はその殆んどが無地のつむぎでありましたが，その当時の代官が振興策として信州上田から織工を呼び，京都から染工を呼んで，柳条紬などをつくり上げたといわれております。それ以来急速に庶民の間に用いられるようにな

つた。以上が第4期時代であり第5期時代は明治の中期になつて織り方にも改良が加えられ，ここではじめて絣（かすり）物が入り，雨絣，十絣，井桁，トンボ絣等の簡単な絣から，その末期には縮織も合せて生産されるようになり，現在のように全国にその技術を誇る結城紬となつたのであります。

どのようにしてつくられるか

結城紬は今でも昔から伝えられてきた手織によつている。まず「つくし」にかけられた真綿から「おぼけ」というものに手で糸をつむぎ出し，つむがれた糸は「かすりくくり」といつて好みの模様を出すようにくくり分けこれを染上げ，いざり機という極めて原始的な機械で織られるが，その工程は「糸撚り」だけがわずかに機械化されているだけで，あとは昔ながらの独特な手工業となつている。

結城地方の農家を訪れると，日あたりのよい縁側で孫の相手をしながら，真綿から糸をつむいでいるのどかな風景が見られる。また家の片すみでは主婦たちが「いざり機」の前に腰をおろし，よりをかけられたよこ糸と，よりをかけてないたて糸の面倒をみながら手足を巧みに動かし，素晴しい風合をもつた結城紬を織つている姿が見受けられる。結城紬の染め方は昔は藍を使用し，数十個の藍ガメを通さなくては独特の色と香りが出ないとまでいわれておりましたが，最近では全生産量の約一割位のものが愛好者のために，昔そのままの藍染めとなつております。

生産額は約7億円

結城紬の年間生産量は約3万反，金額で約7億に及びこの地方の農家では大きな収入源となつている。販売先は，京都，大阪など関西方面へ6割，残り4割が東京方面とその他の地方へとなつている。最高技術品になると反当り40万円という値段の方もとびきり高くなつて，サラリーマンなどには，ちよつと手が出ない。しかし，このような高級品は生産工程も大変なもので，一人で作るとすると完成するまでに250日もかかり，織るだけで，100日もかかるとのことであります。

今後の見通しと対策

所得の増大とともに若い女性は，結城紬など絹の着物を着る者が多くなり，デパートなどでは特設のコーナーなどを設け売り上げを伸ばしている，また来るべきオリンピックには大勢の外国人が日本を訪れ，土産品としても相当の売り上げが見込まれるなど需要が増加することは目にみえているが，原料である繭の値段は史上初のキロ当り7,000円台をマークしており，カイコの飼料である桑は，一時の不景気から相当に整理され，これはそう急に増反することも出来ない。また養蚕そのものが非常に手間のかかることから，現在のように農村の労働力が年々失なわれ，働き手の少ない状況では養蚕家が減ることが予想され，事実統計からも，本県の養蚕家はピーク時である31年の22千戸から37年の15千戸へと大巾に減少を示している。

紬に対する需要増に対し，それをとりまく諸条件は，相当に厳しいものがあるようだ。

このような状況にあつて，去る昭和31年3月に国の重要無形文化財として指定を受け，県及び技術指導を担当する繊維工業指導所，市役所，産地の業者が一体となつて，量より質を目指して全生産品に厳しい検査を実施し特産結城紬の保存と振興に日夜懸命の努力をしております。

（茨城県繊維工業指導所）

グラフにみる

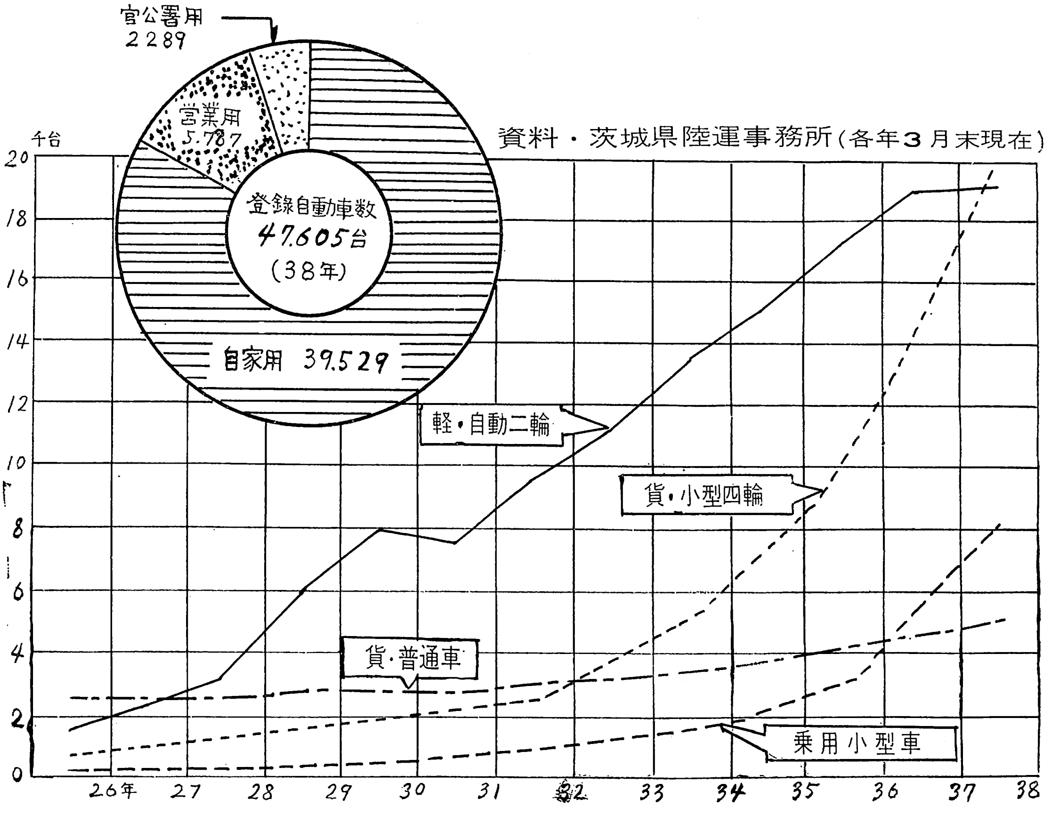
増加する自動車

今も昔も同じはずの道路がこのごろ非常に狭く感じられることがある。毎日の新聞をみても各地でいたましい交通事故が頻繁に発生しており，その規模も次第に大きくなりつつあるが，これは道路が悪いこと，不心得者の運転者が多いということなどいろいろと考えられようがなんといつても最近急激に自動車の数が増えているということが主因であろう。茨城県陸運事務所の調べによれば，本年３月末日現在の本県下の自動車数は昨年にくらべ29,942両の増加で120,085両となつている。

そのうちわけは，登録自動車47,605両，小型二輪車507両，軽自動車71,973両である。登録自動車について車種別にみると貨物用小型四輪車が最も多く，20,584両で43%を占め，これについで貨物用小型三輪車22%，乗用小型自動車17%，貨物用普通自動車11%となつており貨物用が全体の76%を占めている。

さてここでどんな車名の車が多いかをみると，乗用普通者ではフオードとシボレーがともに全体の15%を占めている。乗用小型四輪車ではトヨペットが最も多く8,043両のうち2,601両32%を占めこれにつぎダットサンは27%を占めております。貨物用をみると普通車ではいすずの41%，小型四輪車でトヨペットの39%，小型三輪車でダイハツ42%となつている。車種別のうごきをみると，グラフにみるように近年，軽自動二輪車，貨物用小型四輪車，乗用小型車のように小型車が急激に増加しております。これは最近における経済の高度成長によつて，個人商店や，中小企業などでどんどん車を持つようになつたためだと考えられます。またとくに小型車が増えているということは，買う場合に手頃な値段であること，せまい路字にも入ることが出来るということ，税金など維持費も割合に安くあがることなどが考えられます。

小型車の増加にくらべ，乗用，貨物用とも普通車はそれほどに増えておりません。貨物用の三輪車は35年の13,100両をピークにその後は減少傾向にあり，38年には，10,325両となつています。



人間雑話 (13)

茨城大学教授　塚本勝義

僕の教え子で本屋をやつてる男がいる。先日，店をうろついていたら，偶然彼に見つかり，裏の座敷に引き上げられた。彼は松下幸之助氏の自伝〔私の行き方考え方〕を持つて来て，なかなか面白い本だから読んでみたら，と勧める。渋つてると，いい部分に線を引いておいたから，そこだけでも読んでみたら，と強引に奨める。

仕方なしに借りて来た。そして，物はためし，と第一ページから読み始めた。頭にぴんぴん来る。でつち小僧から第一流の事業家にのし上がつた人物だけあつて，淡々と語る中に，いわゆる〔人間の真実〕が光りを発している。理屈なんか，ひとかけらもない。あるものは，人間の事実であり，そして真実のみ。読んでいると，自分という人間のだらしなさが，いやというほどよくわかつて，情なくなる。

松下氏が自転車屋の小僧をしていたときのこと。よくお客さんにタバコを買つて来てくれと頼まれる。やたらに申しつけられるので仕事のじやまになる。そこで氏は自分の小遣銭で，十個ずつ買つて来ておき，お客さんがタバコと言うと，すぐ出してやるようにした。もちろんお客さんに喜ばれた。変わつた小僧だと褒められた。

ところで，明治三十年代には，タバコを十個買えば，一つまけてくれることになつていた。だから松下さんはお客さんに喜ばれたり，儲けていたりしていたのだ。全くの正攻法で感謝されながら儲けたんだからすばらしいこれは技術ではない。俗に言う〔心がけ〕だ。伸びる人間は，この心がけが違つてる。

松下さんは，学校をやつた社員を眺めていると，学校をやつたために，だいぶ損している人もあるようだと言つておられる。確かにそうだ。学校をやつてプラスになる人とマイナスになる人とがある。くだらん理屈などを囈語しているばつかりに，仕事に身の入らぬ人がどれほど多いことか。学校だつて，やつたからいいのではない。やり方が問題だ。やり方をはずすとロクでもない一生にしてしまう。

○　○　○　○

〔わが小説〕の中で，尾崎一雄さんが，〔私は小説というものの定義がわかつていない。若いうちは今にわかるだろうなどと考えていたが，この齢になつてもわからぬところをみると，多分わからずじまいになるだろう〕と述懐しておられる。定義はわからんが〔暢気眼鏡〕のような傑作が書けた。定義なんか知らなくとも仕事は出来る好例だ。

商人とは何ぞや――と，判つたような理屈はたたけなくとも商売はできる。理屈なんか並べ立てる商人に限つて店が埃つぽくなる。公務員だつてこの例に洩れない。公務員本質論など展開する御仁に限つて，ヘマばかり仕出かし，仲間の嫌われ者となる。理屈の筋道を通すことよりも，仕事の能率を上げるのが本筋だ。理屈にかつこうつけることより，事実を明快に処理することこそ肝心なんだ。松下さんなども事実の処理で大事業家になつたはず。

どうも近頃の新進には理屈が多過ぎる。理屈は近代的かも知らんが，やることは甚だ非近代的だ。

○　○　○　○

やはり〔わが小説〕の中で，川口松太郎さんが，若い頃を回想しておられる。

直木三十五に，〔お前は何をやつても食いつぱぐれのない男だが，小説だけは駄目だから，今のうちにあきらめろ〕と言われたそうだ。菊池寛は〔川口は必ず一流作家になれる〕と断言したという。川口さんの能力について，直木は全面否定，菊池は全面肯定だ。同じ作家の批判が，こうも対立したんだから穏かでない。誰だつて迷う。しかし川口さんは，菊池の言葉を信じて作家の道に踏み切つたという。

ところで直木が亡くなると，彼を記念し，かねて大衆文学の興隆をはかるために〔直木賞〕が設定された。この直木賞の第一回受賞者が，なんと川口松太郎なんだから人生は皮肉だ。

人間の能力は一生暮してみなければ判らないだろう。〔死に花を咲かせる〕人などもあるから，死んでみなければ本決まりにならないかも知れない。

自分でもわからん。親兄弟も見当つかん。学校の先生のおつしやることだつて当てにならない。上役の見る所にしたところで信をおくのは危険だ。

たまたまめぐり合つた仕事に全力を尽くすのが本当の生き方だろう。無器用のようだが自己を生かす唯一の生き方だろう。当り外れは最後の結論にまかせて。